

## 八王子市障害者アンケート調査結果の概要

### 【調査の目的】

本調査は、令和5年度（2023年度）に障害者計画、第7期障害福祉計画、第3期障害児福祉計画策定するにあたって、障害のある方（18歳以上、18歳未満とその保護者）に対して、市民の障害福祉に関する意識・実態等を把握するために実施しました。

### 【調査の実施概要】

調査は、障害のある方の中から、無作為で抽出した方を対象に実施しました。

対象者	18歳未満の身体障害児、知的障害児	18歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者
調査対象数	500名	1,500名
回収数	181名	676名
回収率	36.2%	45.1%
記名の有無	無記名式	
調査期間	令和4年12月から令和5年1月	
調査方法	郵送配付・郵送回収	

### ◆対象者の内訳

	18歳未満の方	18歳以上の方
視覚	3人	44人
聴覚・平衡	14人	97人
音声・言語・そしゃく	0人 ※	9人
肢体不自由	68人	373人
内部障害	17人	310人
知的	341人	189人
精神	53人	367人
特定疾病患者福祉手当	4人	111人
合計	500人	1,500人

※18歳未満の音声・言語・そしゃくの障害者は、0人。

### 【調査結果の概要】

#### ●18歳以上向け調査結果

##### (1) 医療について

医療に関する困りごとは、身体障害者手帳所持者及び精神障害者保健福祉手帳所持者では「医療機関が家の近くにない」、愛の手帳所持者では「障害についての専門の医療機関がない」、高次脳機能障害の診断を受けている方では「通院のための介助者が確保

しにくい」、難病（特定疾患）の診断を受けている方では「医療費の負担が大きい」が最も多くなっています。

#### （2）家族・介助について

介助者が困っていることは、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「将来の見通しに不安がある」、身体障害者手帳所持者では「長期の旅行や外出ができない」、高次脳機能障害の診断を受けている方では「介助者自身の健康に不安がある」、難病（特定疾患）の診断を受けている方では「緊急時の対応に不安がある」が最も多くなっています。

#### （3）日常生活について

日常生活で困っていることは、身体障害者手帳所持者では「健康状態に不安がある」が最も多くなっていますが、他の障害種別では「将来に不安がある」が最も多くなっています。なお、高次脳機能障害の診断を受けている方では「身の回りのことが十分できない」が「将来に不安がある」と同じ割合で最も多くなっています。

#### （4）災害について

災害が起きたときに不安に感じることは、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「薬や医療的ケアを確保できるか不安」、愛の手帳所持者では「ひとりでは避難できない」、発達障害の診断を受けている方では「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が最も多くなっています。

#### （5）住まいについて

住宅に関して困っていることは、高次脳機能障害、身体障害者手帳所持者及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「階段の昇り降り」、愛の手帳所持者では「建物の老朽化」、発達障害の診断を受けている方では「家賃など住宅費の負担」となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者では「建物の老朽化」と「家賃など住宅費の負担」が同じ割合で多くなっています。

#### （6）外出について

外出時に困ることは、身体障害者手帳所持者及び高次脳機能障害の診断を受けている方では「歩道や道路の段差や幅」、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「困ったときどうすればいいか不安」、難病（特定疾患）の診断を受けている方では「建物の段差・階段・設備」が最も多くなっています。

#### （7）権利擁護について

権利擁護に関する用語について、知っている割合が最も多いのは「成年後見制度」で 64.7%となっていますが、他の用語については、2～3割前後にとどまっています。

差別や人権侵害を受けていると感じている人の割合は、全体では 16.7%となってお

り、特に、高次脳機能障害の診断を受けている方では 37.5%、愛の手帳所持者では 36.4%と他の障害種別よりも多くなっています。一方で、感じていない人の割合は、全体では 80.5%となっています。

#### (8) 就労について

何らかの就労をしている人は、発達障害の診断を受けている方で 60.0%と最も多く、次いで、愛の手帳所持者で 48.1%、難病（特定疾患）の診断を受けている方で 47.0%となっています。仕事をする上で困っていることは、身体障害者手帳所持者及び愛の手帳所持者では「給与・工賃などが少ない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「精神的な負担が大きい」、発達障害の診断を受けている方及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「身体的な負担が大きい」が最も多くなっています。

#### (9) 市の支援・施策について

ライフステージの節目において、自身の情報が引き継がれないことで困ったことが「ある」と回答した人は、全体では 7.8%となっています。特に、愛の手帳所持者では 23.4%と他の障害種別よりも多くなっています。今後、行政に力を入れてほしい施策は、愛の手帳所持者では「障害に対する理解の促進」が最も多く、他の障害種別では「年金や手当など経済的支援の充実」が最も多く、いずれも 50%以上となっています。

### ●18 歳未満とその保護者向け調査結果

#### (1) 医療について

医療に関して困っていることは、全体では「医療機関が家の近くにない」が最も多く、次いで、「気軽に相談できる場がない」となっています。

#### (2) 家族・介助について

介助者が困っていることは、障害の種別に関わらず「将来の見通しに不安がある」が最も多くなっています。

#### (3) 日常生活について

日常生活で困っていることは、身体障害者手帳所持者及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「身の回りのことが十分できない」、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「将来に不安がある」が最も多くなっています。

#### (4) 災害について

災害が起きたとき不安に感じることは、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「ひとりでは避難できない」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「通学や通所の途中で災害にあった場合の対応がわからない」が最も多くなっています。

#### (5) 住まいについて

住宅に関して困っていることは、身体障害者手帳所持者では「階段の昇り降り」、愛の手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「建物の老朽化」、精神障害者保健福祉手帳所持者では「家賃など住宅費の負担」、難病（特定疾患）の診断を受けている方では「入り口や廊下が狭い」が最も多くなっています。

#### (6) 外出について

外出時に困ることは、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「困ったときどうすればいいか不安」、身体障害者手帳所持者では「建物の段差・階段・設備」、難病（特定疾患）の診断を受けている方では「トイレの利用」が最も多くなっています。

#### (7) 権利擁護について

権利擁護に関する用語について知っている割合が最も多いのは「成年後見制度」が55.8%となっており、次いで、障害を理由とする差別の解消に関する法律（差別解消法）が35.9%となっています。ご本人やご家族の方が、障害のことで差別や人権侵害を受けていることについて、感じると回答した人は全体で40.9%となっており、特に、精神障害者保健福祉手帳所持者で52.1%と他の障害種別よりも多くなっています。

#### (8) 教育・療育について

放課後の過ごし方は、障害の種別に関わらず「家族・親族といる」が、いずれも50%以上と最も多く、次いで多い回答は、精神障害者保健福祉手帳所持者では「ひとりである」となっていますが、他の障害種別では「放課後等デイサービスを利用している」となっています。

療育や訓練について困っている（いた）ことは、身体障害者手帳所持者では「通園・通所（送り迎え）が大変である」、発達障害の診断を受けている方では「療育・訓練に関する情報が少すくない」、愛の手帳所持者及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「療育・訓練を受けられる回数が少すくない」が最も多くなっています。

#### (9) 切れ目ない支援について

ライフステージの節目において、自身の情報が引き継がれないことで困ったことがあると回答した人は、全体では「ある」が26.0%となっており、その時期については、障害の種別に関かわらず「保育園等から小学校に入学するとき」が最も多くなっています。

#### (10) 施策について

今後行政に力を入れてほしい施策は、身体障害者手帳所持者及び難病（特定疾患）の診断を受けている方では「障害に対する理解の促進」が最も多く、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者及び発達障害の診断を受けている方では「年金や手当など経済的支援の充実」が最も多くなっています。

## 【自由意見】

18歳以上向け調査結果より

項目	件数
① 将来に対する不安について	86件
② ご意見・ご要望	41件
③ 支援・サービス等について	32件
④ 環境・インフラについて	20件
⑤ 福祉施設について	15件
⑥ 手続きについて	13件
⑦ 市役所について	13件
⑧ 感謝・激励	12件
⑨ アンケートについて	10件
⑩ 就労について	5件
⑪ その他	21件
合計	268件

18歳未満とその保護者向け調査結果より

項目	件数
① 支援・サービス等について	29件
② 将来に対する不安について	21件
③ 学校教育について	15件
④ 就労について	7件
⑤ 福祉施設について	7件
⑥ 市役所について	7件
⑦ ご意見・ご要望	5件
⑧ 医療機関について	4件
⑨ 環境・インフラについて	3件
⑩ その他	2件
合計	100件

### ●主な意見

〈将来に対する不安について〉

- ・さまざまな施策があっても、必要としている人に伝わっているか不安です。自分で情報を集められなければ、利用出来ないのは残念です。手続きの時に、教えてもらえると助かる。(50歳代・女性難病)
- ・一人住まいをしていて、ヘルパーが不足のため頼めないことや、介護の車利用のタクシー券が足りないこと、全てにお金がかかり施設に入りたくても入れない。(70歳代・女性身体障害)
- ・将来一般就労ができるか心配。今の状態で生活していけるかどうか不安。(40歳代・男性精神障害)

〈ご意見・ご要望について〉

- ・これからも市には障害者と健常者が共生していく社会をつくることを積極的に力をいれてほしい。(19歳以下・男性知的障害)
- ・もう少し緊密に相談できるようにしてほしい。(70歳代・男性身体障害)

〈支援・サービス等について〉

- ・外に出ることが難しい日があるので、車で目的地まで連れていってくれるサービスか、タクシーの割引など、充実してくれるとありがたい。(40歳代・女性精神障害)